

平成30年度 湯沢砂防事務所

事業計画概要



YUZAWA SABO

北陸地方整備局

湯沢砂防事務所

湯沢砂防事務所の「安全で安心な地域づくり」の基本方針

湯沢砂防事務所は、信濃川の支流である魚野川、清津川、中津川の流域の約 2,200 平方キロメートルを担当し、直轄砂防事務所としては日本一の広さで砂防事業を行っています。

管内には谷川岳・苗場山などからなる「上信越高原国立公園」、越後三山・守門岳・浅草岳などからなる「越後三山只見国定公園」、巻機山を中心とする「魚沼連峰県立自然公園」があり、四季の変化に富んだ、自然豊かで美しい地域となっています。

また、管内は、関東と北陸を結ぶ上越新幹線や関越自動車道、国道17号が通っているほか、多数のスキー場や温泉などの豊かな自然を活用した日本有数のリゾート地域となっている等、日本の社会、経済活動上重要な地域となっています。

その一方で、豊かな自然の恵みを与えてくれる山々は非常に脆弱な地質と急峻地形からなっており、梅雨から秋にかけての集中豪雨や台風、冬から春にかけて豪雪および融雪によって崩れやすく、土砂の生産・流出の激しい地域です。加えて、人家集落、道路や鉄道などが山沿いに多く立地しているため、土砂災害を受けやすい地域となっています。

このような管内の特性を踏まえ、湯沢砂防事務所は、「定住交流の促進」、「個性豊かな地域づくり」、「自然との共生」を整備方針とし、技術の研鑽と開発、様々な情報の発信に努めながら、地域に根ざした砂防事業を推進し、安全で安心な地域づくりに取り組んでいます。

平成30年度事業計画のポイント

○ 被災地域における再度災害防止対策

- 平成23年7月新潟・福島豪雨により土砂災害が発生し、流域の荒廃が懸念される地域(高棚川、登川、三国川など)において砂防事業を集中的に推進することで、再度災害防止及び地域の治水安全度の向上を図ります。
- 新潟県中越地震により、多くの斜面崩壊や地すべり等が発生し、土砂移動による災害発生リスクが高まった地域(芋川、相川川など)において砂防事業を引き続き計画的に実施することで、再度災害防止及び地域の治水安全度の向上を図ります。

○ 土石流などの土砂災害に対する予防的対策

- 土石流などの直接的な土砂災害から住民の生命と財産を保全することを目的とし、土石流の発生が懸念される溪流(居頭沢、赤坂沢、石黒川など)において、砂防堰堤などの施設整備を推進します。

○ 荒廃流域における土砂移動に伴った被害の抑制

- 火山噴出物からなる脆弱な地質構造を有するとともに、多くの崩壊地が点在する荒廃流域であり、近年、台風に伴う出水等で著しい土砂移動現象が生じている中津川、清津川流域において、土砂流出に伴う被害を防止するため砂防事業の計画的な推進を図ります。

○ 戦略的なメンテナンス

- 完成から約80年が経過し、老朽化が懸念される大源太川第1号砂防堰堤について、その文化的価値、景観的価値に配慮しつつ補強対策を推進することで、地域の治水安全度の向上を図ります。
- そのほか、管内にある約260基の砂防施設に関し、その状況を適切に把握したうえで、計画的、効果的な施設の機能確保対策に取り組みます。

○ 大規模土砂災害への備え

- 近年、全国において、天然ダムの形成など大規模な土砂災害が発生しており、これらの災害対応においては国・県・市・地域住民が連携した迅速かつ円滑な対応が必要であることから、「大規模土砂災害を想定した合同防災訓練」などのソフト対策に取り組むことで、危機管理対応能力の向上を図ります。

3 平成30年度 事業別予算総括表

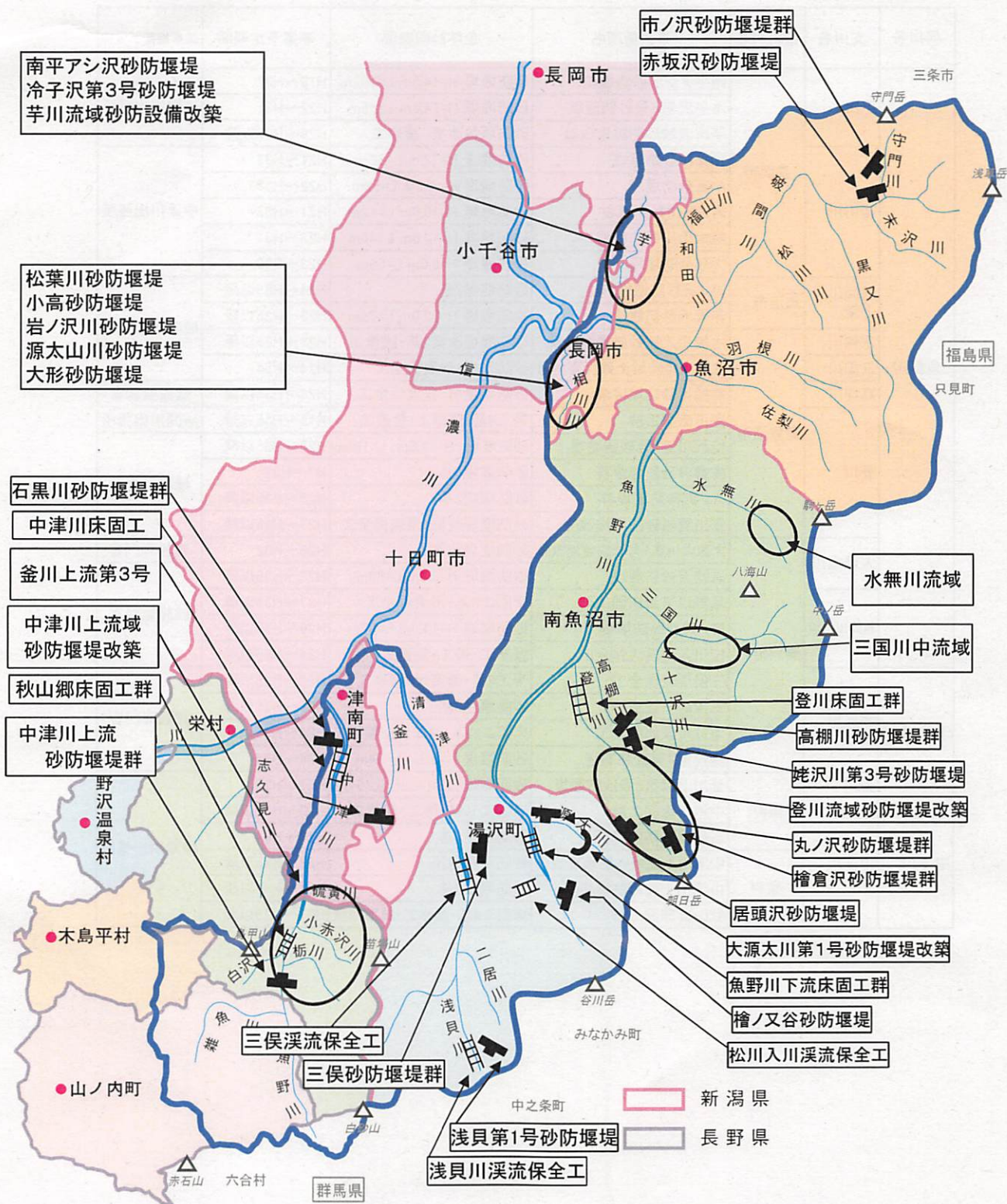
(単位:百万円)

事業区分	平成29年度 当初	平成29年度 補正	平成30年度 当初	備考
直轄砂防事業費	4,557.5	640	4,102.0	
直轄砂防事業	3,010.0	470	2,686.0	
直轄火山砂防事業	1,547.5	170	1,416.0	

※ 業務取扱費を除く。

4 平成30年度 実施予定箇所数

事業区分	実施箇所数			
	H30継続	H30新規	計	うち完成
直轄砂防事業	33	0	33	1
直轄砂防事業	21	0	21	1
直轄火山砂防事業	12	0	12	0



＜砂防事業＞

河川名	支川名	市町村名	事業箇所名	全体計画概要	事業予定期間	工事監督部署等	
魚野川	芋川	長岡市	南平アシ沢砂防堰堤	砂防堰堤 H=14.5m L=102m	H19～H32	破間川出張所	
			冷子沢第3号砂防堰堤	砂防堰堤 H=14.5m L=55m	H22～H31		
			芋川流域砂防設備改築	砂防堰堤改築、護岸工	H29～H35以降		
	相川川		松葉川砂防堰堤	砂防堰堤 H=7.5m L=38m	H21～H33	中津川出張所	
			小高砂防堰堤	砂防堰堤 H= 5.5m L=38m	H22～H33		
			岩ノ沢川砂防堰堤	砂防堰堤 H=10.0m L=62m	H21～H33		
			源太山川砂防堰堤	砂防堰堤 H=12.5m L=46m	H23～H31		
	魚野川	破間川上流	魚沼市	市ノ沢砂防堰堤群	砂防堰堤2基	H24～H35以降	破間川出張所
				赤坂沢砂防堰堤	砂防堰堤 H=12.0m L=76m	H23～H35以降	
		水無川	南魚沼市	水無川流域砂防堰堤改築	砂防堰堤改築2基・護岸工	H28～H35以降	建設監督官
		三国川		三国川中流域土砂災害対策	砂防堰堤・溪流保全工	H24～H34	
		高棚川		高棚川砂防堰堤群	砂防堰堤群・溪流保全工	H24～H35以降	
		登川	南魚沼市	登川床固工群	帯工4基・護岸工・魚道工	H15～H35以降	破間川出張所
				姥沢川第3号砂防堰堤	砂防堰堤 H=12.0m L=105m	H28～H35以降	建設監督官
				檜倉沢砂防堰堤群	砂防堰堤6基	H7～H33	
				丸ノ沢砂防堰堤群	砂防堰堤2基	H25～H35以降	
		大源太川	湯沢町	登川流域砂防堰堤改築	砂防堰堤改築・溪流保全工	H27～H35以降	建設専門官
	大源太川第1号砂防堰堤改築			砂防堰堤改築	H26～H32		
	居頭沢砂防堰堤			砂防堰堤 H=9.5m L=83m	H23～H35以降		
	魚野川下流床固工群			床固工3基・溪流保全工	H27～H35以降		
檜ノ又谷砂防堰堤	砂防堰堤 H=14.5m L=97m			H29～H35以降			
清津川	浅貝川	湯沢町	松川入川溪流保全工	護岸工・帯工・魚道工	H24～H35以降	建設専門官	
			三俣溪流保全工	帯工3基・導流堤・護岸工	H23～H35以降		
			三俣砂防堰堤群	砂防堰堤3基	H29～H35以降		
			浅貝川溪流保全工	床固工13基・帯工2基・護岸工	H24～H35以降		
釜川	津南町	浅貝第1号砂防堰堤	砂防堰堤 H=8.5m L=94m	H24～H34	建設専門官		
		釜川上流第3号砂防堰堤	砂防堰堤 H=14.5m L=57m	H27～H32			
中津川	中津川	津南町	中津川床固工群	床固工10基・帯工・護岸工	H10～H35以降	中津川出張所	
			石黒川砂防堰堤群	砂防堰堤3基	H23～H34		
			中津川上流域砂防堰堤改築	砂防堰堤改築	H28～H35以降		
		柴村	中津川上流砂防堰堤群	砂防堰堤2基	H21～H35以降		
			秋山郷床固工群	床固工4基・護岸工・斜面对策	H27～H35以降		

- | | |
|--|-------|
| 1. 芋川流域砂防事業の推進
いもかわ
[新潟県長岡市山古志] | P. 7 |
| 2. 相川川流域砂防事業の推進
あいかわがわ
[新潟県長岡市川口田麦山] | P. 8 |
| 3. 市ノ沢砂防堰堤群の整備
いちのさわ
[新潟県魚沼市大白川] | P. 9 |
| 4. 高棚川砂防堰堤群の整備
こうだながわ
[新潟県南魚沼市長崎] | P. 10 |
| 5. 三国川中流域土砂災害対策の推進
さぐりがわ
[新潟県南魚沼市蛭窪・畔地新田] | P. 11 |
| 6. 大源太川第1号砂防堰堤改築事業の推進
だいげんたがわ
[新潟県南魚沼郡湯沢町土樽] | P. 12 |
| 7. 三俣溪流保全工の整備
みつまた
[新潟県南魚沼郡湯沢町三俣] | P. 13 |
| 8. 浅貝川溪流保全工の整備
あさかいがわ
[新潟県南魚沼郡湯沢町三国] | P. 14 |
| 9. 中津川床固工群の整備
なかつがわ
[新潟県中魚沼郡津南町石坂] | P. 15 |
| 10. 中津川上流砂防堰堤群の整備
なかつがわ
[長野県下水内郡栄村上野原] | P. 16 |
| 11. 秋山郷床固工群の整備
あきやまごう
[長野県下水内郡栄村堺] | P. 17 |

いもがわ
1. 芋川流域砂防事業の推進

にいがた ながおか やまこし
新潟県長岡市山古志

事業の概要

新潟県中越地震により、芋川流域では多数の河道閉塞・地すべりが発生し、そのまま放置すると越水や閉塞土塊の崩壊の危険性があったことから、新潟県の要請を受け、緊急対応及び直轄災害緊急事業等により、流域内の11地区で堰堤等を施工しました。しかし、流域内では荒廃が進行しており、未だ多量の不安定土砂が河床に堆積している状況にあります。これら不安定土砂の下流への流出抑制を図るため、砂防事業を推進します。また、中越地震後緊急的に実施した施設について、健全度不足が確認されているため、芋川流域の砂防設備改築を実施します。

整備効果

砂防事業の実施により、家屋等の保全、不安定土砂の下流への流出抑制を図り、下流域の安全を確保するとともに、再度災害を防止します。

平成30年度の事業内容

芋川流域の2箇所（南平アシ沢・冷子沢第3号）において砂防堰堤の整備進捗を図ります。また、竜光地区において、護岸工の改築を推進します。

位置図



整備中の南平アシ沢砂防堰堤



3. 市のさわ 市ノ沢砂防堰堤群の整備

にいがた うおぬま おおしらかわ
新潟県魚沼市大白川

事業概要

市ノ沢は、破間川右支川守門川の右支溪で、流域面積は1.43Km²であり砂防堰堤計画地点の溪床勾配は1/7.0で急勾配となっています。

市ノ沢の溪床には過去の土砂移動により流出したと考えられる土石流堆積物が分布するとともに、溪岸崩壊が非常に多く確認されています。このような状況から、市ノ沢では計画規模降雨時において大規模な土砂移動の発生が懸念されています。

平成10年8月の豪雨では、破間川上流域の日雨量が、五味沢雨量観測所及び破間川ダム観測所で260mmを超え、破間川流域各所において土砂災害が発生しました。

このため、市ノ沢において砂防堰堤2基を整備し早期に安全の確保を図ります。

整備効果

砂防堰堤の整備により下流沿川地域における土砂災害に対する安全度を向上させるとともに、守門川沿いの家屋密集地域を土石流の直接被害から保全します。

平成30年度の事業内容

砂防堰堤群の整備を推進します。



位置図



整備中の市ノ沢第2号砂防堰堤

4. 高棚川砂防堰堤群の整備

にいがた みなみうおぬま ながさき
新潟県南魚沼市長崎

事業の概要

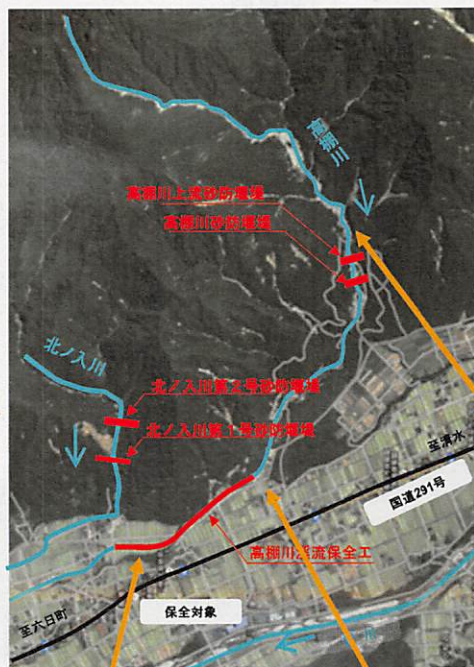
高棚川流域は、平成23年7月新潟・福島豪雨によって発生した崩壊土砂により、新たに不安定土砂が大量に生産・堆積していることから、降雨により流出・氾濫し、家屋密集地域が被災する危険性があります。現在、高棚川流域には、砂防堰堤2基、床固工3基が整備されていますが、崩壊による流出土砂が異常堆積している状況です。このため、崩壊によって発生した新たな大量の不安定土砂の流出防止対策のため、砂防堰堤等の整備を推進します。

整備効果

砂防堰堤の整備により、再度災害を防止し、下流沿川地域における土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

用地取得と工事用道路、溪流保全工の整備を推進します。



5. さぐりがわ 三国川中流域土砂災害対策の推進

にいがた みなみうおぬま ひるくぼ あぜちしんでん
新潟県南魚沼市蛭窪・畔地新田

事業の概要

三国川中流域では、平成23年7月新潟・福島豪雨により土石流が発生し、下流一帯が被災しました。特に、堆積土砂によって流向が変わり、土石流が高平沢に集中したため、下流の土沢地区の家屋が甚大な被害を受けました。

本流域内には、依然大量の不安定な土石流堆積物が残存しており、再度豪雨に見舞われた場合に土石流の発生が懸念されます。直下流には発電施設も存在することから、再度災害が発生した場合にはその影響がより広域に及ぶことが懸念されるため、早急に砂防堰堤を整備する必要があります。

整備効果

砂防堰堤の整備により、再度災害を防止し、下流沿川地域における土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

溪流保全工の整備を推進します。

三国川中流域土砂災害対策
(蛭窪砂防堰堤群)



位置図



三国川中流域土砂災害対策
(舟窪沢土石流堆積工)



6. 大源太川第1号砂防堰堤改築事業の推進

にいがた みなみうおぬま ゆざわ つちたる
新潟県南魚沼郡湯沢町土樽

事業の概要

大源太川第1号砂防堰堤は、昭和14年11月に完成した日本でも最初期のアーチ式砂防堰堤のひとつです。完成から77年が経過し、堤体の損傷が著しく、機能を維持するため、補強対策の必要があります。

このため、基幹堰堤である大源太川第1号砂防堰堤の改築を実施します。

整備効果

施設を保全し、下流域の土砂災害に対する安全度の確保します。

平成30年度の事業内容

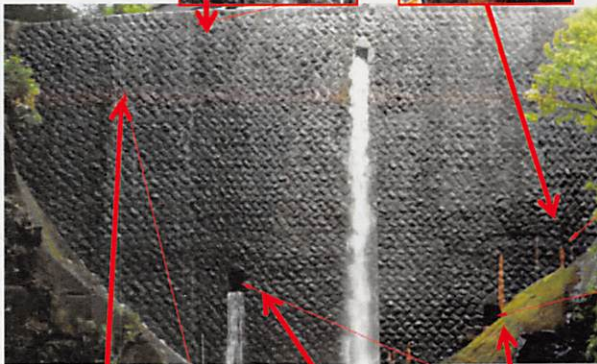
砂防堰堤の改築を推進します。



位置図



堰堤漏水状況



完成時(S14年)



H28年度仮栈橋竣工



H29年度排水トンネル着手

7. ^{みつまた}三俣溪流保全工の整備

^{にいがた} ^{みなみうおぬま} ^{ゆざわ} ^{みつまた}
新潟県南魚沼郡湯沢町三俣

事業の概要

清津川は、荒廃が著しい白砂山を水源とする急流河川で、過去から多量の土砂が流出し続けています。

平成23年9月の台風12号による増水においても、上流から多量の土砂が流出するとともに、溪岸侵食等の被害が沿川の至る所で発生しました。

清津川中流域の三俣地区では、日本海側と関東圏域を結び緊急輸送道路に指定されている国道17号と清津川右支川の浅貝川が並走するとともに、湯沢町の主要観光施設があり、多くの観光客が訪れています。

このため、重要交通網の保全や清津川沿川地域の土砂災害を防止するため三俣溪流保全工の整備を推進します。

整備効果

溪流保全工の整備により、不安定土砂の下流への流出抑制を図り、流出土砂による河床上昇に起因する流域内や下流域の土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

溪流保全工の整備を推進します。



清津川沿いに立地する集落（三俣地区）や国道17号等を保全するため、溪流保全工を整備します



平成25年9月 台風18号による増水に伴う土砂移動で護岸が被災

あさかいがわ 8. 浅貝川溪流保全工の整備

にいがた みなみうおぬま ゆざわ みくに
新潟県南魚沼郡湯沢町三国

事業の概要

清津川は、荒廃が著しい白砂山を水源とする急流河川で、過去から多量の土砂が流出し続けています。

平成23年9月の台風12号及び平成25年9月の台風18号による増水でも、上流から多量の土砂が流出するとともに、溪岸の侵食等の被害が沿川の至る所で発生しました。

清津川上流域の浅貝地区は、日本海側と関東圏域を結び緊急輸送道路に指定されている国道17号と清津川右支川の浅貝川が並走するとともに、湯沢町の主要観光施設があります。

重要交通網の保全や浅貝川沿川地域の土砂災害を防止するため、浅貝川溪流保全工の整備を推進します。

整備効果

溪流保全工の整備により、不安定土砂の下流への流出抑制を図り、流出土砂による河床上昇に起因する土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

溪流保全工の整備を推進します。



位置図



H23.8 台風12号豪雨による増水水状況

なかつがわ
9. 中津川床固工群の整備

にいがた なかうおぬま つなん いしざか
 新潟県中魚沼郡津南町石坂

事業の概要

信濃川水系中津川の下流では、上流からの流出土砂により局所的な堆積と深堀が繰り返されており、昭和56、57、58年には相次いで堤防・護岸等が決壊し、道路や公園、田畑等への被害が発生しています。

近年では、平成25年9月の台風18号豪雨により新たに大量の不安定土砂が発生・堆積していることから、沿川地域を土砂災害から保全するため、床固工群の整備を推進します。

整備効果

床固工群の整備により、不安定土砂の下流への流出抑制を図り、流出土砂による河床上昇に起因する土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

床固工群の整備を推進します。



位置図



平成25年9月 台風18号豪雨での増水状況
 (中津川床固工群 第3号床固工)

10. なかつがわ 中津川上流砂防堰堤群の整備

ながの しもみのち さかえ うえのはら
長野県下水内郡栄村上野原

事業の概要

中津川流域は、苗場山、鳥甲山等からの火山噴出物により形成された非常に脆弱な地質で構成されているため、絶えず崩壊が繰り返され、多量の土砂が下流へ流出しています。

溪流内には崩壊地が多数存在し、河床には多量の不安定土砂が堆積しており、昭和56年8月の台風15号や平成25年9月の台風18号による豪雨で甚大な被害が発生しています。

このため、土砂災害から下流沿川地域を保全するため、砂防堰堤群及び溪流保全工の整備を推進します。

整備効果

砂防堰堤及び溪流保全工の整備により下流沿川地域における土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

砂防堰堤群及び溪流保全工の整備を推進します。



位置図



平成25年9月 台風18号での増水状況
(中津川上流溪流保全工)

あきやまごう 1 1. 秋山郷床固工群の整備

ながの しもみ のち さかえ さかい
長野県下水内郡栄村郷

事業の概要

中津川流域は、苗場山、鳥甲山等からの火山噴出物により形成された非常に脆弱な地質で構成されているため、絶えず崩壊が繰り返され、多量の土砂が下流へ流出しています。

溪流内には崩壊地が多数存在し、河床には多量の不安定土砂が堆積しており、昭和56年8月の台風15号や平成25年9月の台風18号による豪雨で甚大な被害が発生しています。

また、平成27年9月の台風18号に伴う出水においても、溪岸侵食に伴った斜面崩落が発生しています。当該崩壊地の背後には国道405号があることから、長野県、栄村との情報共有を図りつつ、対策を講じるとともに、斜面对策と併せ、床固工の整備を推進することで、土砂災害から国道や周辺地域及び下流の沿川地域を保全します。

整備効果

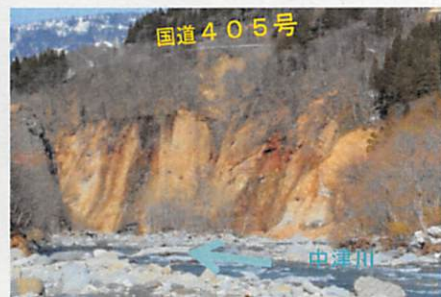
床固工群の整備により溪岸侵食の抑制及び河床に堆積した不安定土砂の再移動を防止し、下流沿川地域における土砂災害に対する安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

斜面对策工の整備を推進します。



位置図



溪岸侵食及び斜面の崩落状況

事務所の所在地

■湯沢砂防事務所

〒949-6102 新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立23
 総務課 TEL (025) 784-2263 FAX (025) 784-1729
 用地課 TEL (025) 784-1034 FAX (025) 784-1729
 工務課 TEL (025) 784-2264 FAX (025) 784-2285
 調査課 TEL (025) 784-2073 FAX (025) 784-2441



■破間川出張所

〒946-0076 新潟県魚沼市井口新田242-5
 TEL (025) 792-1105 FAX (025) 792-2462



■中津川出張所

〒949-8201 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊434-4
 TEL (025) 765-2146 FAX (025) 765-4812



情報発信

■事務所情報

●湯沢砂防事務所ホームページ
<http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/>



湯沢砂防事務所ホームページ
QRコード

●ツイッター
 湯沢砂防事務所の事業、災害対応の取組情報や湯沢砂防事務所
 が主催・協賛するイベント等の情報をツイッターで発信しています。



公式アカウント
 @mlit_yuzawasabo
 URL
https://twitter.com/mlit_yuzawasabo

■防災情報

- 川の防災情報 国土交通省
 (全国のリアルタイム雨量や川の水位など)
 【パソコン】<http://www.river.go.jp/>
 【携帯電話】<http://i.river.go.jp/>
- 国土交通省防災情報提供センター
 (雨量のリアルタイムレーダーなど)
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/index.html>
- 新潟県河川防災情報システム
 (新潟県内の川の水位やダムを観測情報など)
<http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen/index.html>
- 新潟県土砂災害警戒情報システム
 (新潟県内の雨量や土砂災害危険箇所の情報など)
<http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou/index.html>
- 気象庁
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>